

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産学概論	講義	1	15	1年次前期	阿南 美奈子
実務経験のある教員による科目		臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う			

授業概要

助産に必要な基本概念、定義、助産師の意義及び役割・責務を学び、専門職としての助産師のあり方を学ぶ。
さらに歴史・文化、母子保健動向、助産師の教育の変遷から、将来の助産師像を展望する。

到達目標

1. 助産の起源や変遷を通して助産の概念を理解する。
2. 助産に関する法律を理解し、助産業務と責務について理解する。
3. 助産学を支える哲学と理論について理解する。
4. プライマル・ヘルスとホリスティック医学の知識を得る。
5. 母子保健の動向や諸制度を理解する。
6. 助産の歴史や文化を理解し、将来の助産を展望できる。
7. 我が国・諸外国における助産師教育について理解する。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	◎			○		

回数	単元	内容	担当教員
1	助産の概念	助産の概念 助産の起源、出産の変遷、助産の定義、助産の意義・本質、助産の対象、助産の将来 助産に関する概念 リプロダクティブヘルス/ライツ ジェンダー	阿南
2	助産の業務と職責	助産師と法律 法律からみた助産師の身分 助産師の業務・責務	阿南
3	助産学を支える哲学・理論	助産学を支える哲学(ソクラテス産婆術・タオイズム) 助産学を支える理論(プライマルヘルスとホリスティック医学・ケアリング)	阿南
4	助産師と倫理	助産学を構成する理論 1) 生命倫理と職業倫理 2) 対象理解のための理論(ルービンの母性論、マーサーの母親役割獲得理論、愛着理論、きずな理論、危機理論) 助産学に関連する学問領域	阿南
5	助産の歴史と文化	古代から江戸時代までの助産の変遷 明治～昭和時代の助産の変遷 助産と文化 儀礼(人生儀礼)	阿南
6	母子保健の動向と諸制度	母子保健の歴史 現代の母子保健 母子保健の動向と諸制度	阿南
7	助産師と教育	わが国における助産師教育の歴史 諸外国に於ける助産教育の歴史 日本助産師会と国際助産師連盟(ICM) 助産師のコアコンピテシー 国際助産師連盟(ICM)と助産教育の世界基準 助産師としての将来像	阿南
8	助産展望	助産学のこれから	阿南

評価	終講試験(100点): 客観式テスト(100点)
テキスト	助産学講座1 基礎助産学[1]助産学概論(医学書院) 新版 助産師業務要覧I 基礎編、II 実践編(日本看護協会出版会) 母子保健の主なる統計(母子衛生研究会)
参考図書等	プライマル・ヘルス(メディカ出版) ホリスティック医学(日本ホリスティック医学協会) 助産学講座10 助産管理(医学書院) 他資料
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
性と生殖の基礎科学	講義	1	30	1年次前期	光橋 幸恵 東 華岳 草野 秀一 加来 久美
実務経験のある教員による科目					

授業概要
リプロダクションに関する生殖器の解剖・生理を理解し、遺伝と遺伝疾患、性の分化と発達、胎児の発育・胎盤機能、母子と免疫など、助産学の基礎になる科学について理解する。

到達目標
1. 生殖の形態と機能を理解する。 2. 性の行動と機能について理解する。 3. 不妊症の定義と原因について理解する。 4. 生殖補助医療について理解する。 5. 遺伝と遺伝性疾患について理解する。 6. 母子と免疫について理解する。 7. 母子と感染について理解する。 8. 性感染症について理解する。 9. 女性のライフサイクル各期に起きる主な疾患について理解する。

事前学習・事後学習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。 事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	○		◎			

回数	単元	内容	担当教員
1	生殖の形態と機能①	母性の身体的特徴 1) 形態と機能における男女差 2) 性器の形態的特徴 3) 性機能の発達と加齢変化 生殖生理に関する間脳-下垂体系の形態学 1) 視床下部-下垂体系の形態学 2) 視床下部ホルモン 3) 下垂体ホルモンの種類と作用	光橋
2	生殖の形態と機能②	卵巣機能 1) 卵巣の形態と卵巣機能 2) 卵巣の発生 3) 排卵の診断と予知 4) 排卵の誘発と抑制 5) 卵巣機能検査法	光橋
3	生殖の形態と機能③	妊娠成立の機序 1) 妊娠の成立 2) 不妊症の診断 胎児胎盤機能 1) 胎盤の形成と形態 2) 胎盤における物質交換 3) 胎盤におけるホルモン産生 乳汁分泌の生理	光橋
4	性の行動と機能	性の分化と発達 1) 典型的性分化と非典型的性分化 2) からだの性と心の性 3) セクシュアリティとジェンダー 4) 性欲論とセクシュアリティの発達 5) 思春期の性 性交と性反応 1) 性行動における種差別主義と性差別 2) 生殖と性交の分離 3) 女性の性反応 4) 男性の性反応 性の多様性 1) 性障害と性同一性障害	加来
5	不妊症と生殖補助医療①	不妊症の定義と診断	加来
6	不妊症と生殖補助医療②	生殖補助医療の実際 生殖補助医療の問題点	加来
7	遺伝	遺伝学の歴史と医療 1) 遺伝学概論 2) 染色体の基礎知識 3) 遺伝医学における助産師の役割	東
8	遺伝と遺伝性疾患	染色体異常 遺伝子解析法 遺伝性疾患 出生前診断	東
9	母子と免疫	免疫学概論 母子の免疫学的特性 胎児・新生児の免疫学的特性	東
10	母子と感染	母子感染総論 母子感染各論	東

回数	単元	内容	担当教員
11	性感染症①	婦人科の炎症性疾患	草野
12	性感染症②	性感染症総論	草野
13	女性のライフサイクル各期におきる主な疾患①	性分化疾患 小児期・思春期の疾患	草野
14	女性のライフサイクル各期におきる主な疾患②	成熟期の疾患 子宮の3大良性疾患 婦人科3大悪性疾患	草野
15	女性のライフサイクル各期におきる主な疾患③	更年期・老年期に起こりやすい心身の変化とその対応	草野

評価	終講試験（100点）：光橋（20点） 加來（20点） 東（25点） 草野（35点）
テキスト	助産学講座 2 基礎助産学[2]母子の基礎科学（医学書院） 病気がみえる⑨婦人科・乳腺外科（MEDIC MEDIA） 標準産科婦人科学（医学書院）
参考図書等	助産師基礎教育テキスト 4 妊娠期の診断とケア（日本看護協会出版会） 助産学講座 4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学（医学書院） 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1]妊娠期（医学書院） 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA） 産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編（日本産科婦人科学会）
留意事項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
性と生殖の健康科学	講義 演習	1	30	1年次 前期	岡本 亜由美 松本 しのぶ 檜崎 理恵 内野 博行 井上 エミ 他
実務経験のある教員による科目					

授 業 概 要

母子の健康に影響を与える要因:栄養、嗜好品、薬物、運動、歯科、補完代替医療等について、健康・自然科学から支援の基礎知識を学び、健康管理の重要性について理解し、助産支援の役割について考えることができる。

到 達 目 標

1. 母子の食と栄養について理解する。
2. 母子に影響を与える薬剤について理解する。
3. 妊産婦の運動生理学について理解する。
4. 母子の口腔衛生について理解する。
5. 補完代替医療
東洋医学における母子の健康とアロマセラピー

事 前 学 習 ・ 事 後 学 習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習する。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	○		◎			

回数	単 元	内 容	担当教員
1	母子と栄養①	栄養の基礎知識 栄養の摂取基準 栄養状態の評価	松本
2	母子と栄養②	妊婦の栄養 授乳婦の栄養 嗜好品:タバコ、アルコール 妊産婦の病態栄養	松本
3	母子と栄養③	乳幼児の栄養 学童・思春期の子どもの栄養 乳幼児の病態栄養	松本
4	母子と嗜好品・薬物①	依存性薬物 妊娠期に用いる薬剤	非常勤 講師
5	母子と薬物②	分娩期に用いる薬剤	非常勤 講師
6	母子と薬剤③	授乳婦への薬剤投与	非常勤 講師
7	母子と運動①	母子の運動生理学 (目的・問題点、運動に対する母体の反応・禁忌)	檜崎
8	母子と運動②	妊産婦の運動の実際(運動の考え方、エクササイズの種類、集団実技指導の実際)	檜崎
9	母子と運動③	妊産婦の運動の実際(マタニティピクス)	檜崎
10	母子と運動④	妊産婦の運動の実際(マタニティヨーガ)	檜崎
11	母子の歯科保健	歯、口腔の発育・発達と異常 妊婦・産後の歯科保健	内野
12	母子の補完代替医療① 東洋医学における母子の健康	東洋医学の基礎知識 東洋医学と鍼灸医学	井上
13	母子の補完代替医療② 東洋医学における母子の健康	東洋医学の実際(助産技術に応用する鍼灸療法)	井上
14	母子の補完代替医療③ アロマセラピー	アロマセラピーの概要 産科での取り組み 妊娠中のアロマセラピー	岡本
15	母子の補完代替医療④ アロマセラピー	アロマセラピーの実際(芳香浴、ハンドマッサージ)	岡本

評 価	終講試験 客観式テスト(90点) : 檜崎(40点) 松本(25点) 薬物・薬剤:(25点) 課題レポートテスト(10点): 井上(5点) 岡本(5点)
テ キ ス ト	助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 (医学書院) 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 (医学書院) 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 (医学書院) 病気がみえる⑩ 産科 (MEDIC MEDIA)
参 考 図 書 等	ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会) Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics) 食品成分表 (女子栄養大学出版部) 新谷 弘実 著 胃腸は語る (弘文堂) 病気になるない生き方 (サンマーク出版) その他、安保徹著書 内野 博行 著 こどもの歯を「治療・矯正」する前に (ジャパンマニスト育児新書)
留 意 事 項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
女性のメンタルヘルスと社会学	講義	1	30	1年次前期	舞弓 京子 野口 真理子
実務経験のある教員による科目					

授 業 概 要

女性のライフサイクル各期の心理社会的課題、家族関係の発達と課題、家族と社会、母親・父親と社会、子どもと社会、DV被害者支援の実際など女性が抱える問題や課題に関して心理・社会的側面から理解する。また、母性・父性(親性)を育成するための支援方法について学ぶ。

到 達 目 標

1. 女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題について理解する。
2. 家族の機能と発達について理解する。
3. 親-子関係の問題について理解する。
4. 母子を取り巻く社会について理解する。

事 前 学 習 ・ 事 後 学 習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	○	◎				

回数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題 ①	思春期・青年期女性の発達と心理・社会的課題	舞弓
2	女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題 ②	思春期・青年期女性の精神疾患と支援 若年妊娠の支援	舞弓
3	女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題 ③	成人前期・成人中期女性の発達と心理・社会的課題	舞弓
4	女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題 ④	妊娠に関わる問題 1) 不妊治療 2) 高齢出産 3) 周産期に関わる統計データ	舞弓
5	女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題 ⑤	更年期・老年期女性の発達と心理・社会的課題 生殖補助医療法について	舞弓
6	女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題 ⑥	悲嘆と周産期喪失について	舞弓
7	家族関係の発達と課題	家族の機能と役割 家族の変化 家族形態の多様性 家族の再編 家族と法	舞弓
8	母子関係形成の課題 ①	母性の発達過程 妊娠期の母子関係 1) 胎児期 2) 妊娠期	舞弓
9	母子関係形成の課題 ②	愛着障害 虐待 低出生体重児 多胎	舞弓
10	父子関係の形成と課題 夫婦関係と子供の発達	父子関係 産後クライシス DV 離婚・ステップファミリー	舞弓
11	母親と社会	社会学・ジェンダー論からみた母性 現代の母性 1) 働く母親 キャリアレインボー	舞弓
12	父親と社会	歴史の中の父親 現代社会の中の父親	舞弓
13	子どもと社会	社会のなかの子ども 現代日本の子育て支援 世界の子育て支援	舞弓
14	夫婦間暴力と児童虐待	定義 統計 母児への影響 暴力のサイクル理論 虐待が発生する要因 支援の実際	野口
15	メンタルヘルスのスクリーニング	EPDS スクリーニング	舞弓

<p>評 価</p>	<p>終講試験（100点）： 舞弓(100点)</p>
<p>テ キ ス ト</p>	<p>助産学講座 4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学（医学書院）</p>
<p>参考図書等</p>	<p>事例で読み解く周産期メンタルヘルスキアの理論（医学書院） 父親の発達心理学（川島書店） エピソードでつかむ生涯発達心理学（ミネルヴァ書房） 資料 妊産婦のメンタルヘルスキアマニュアル～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～(公益社団法人 日本産婦人科医会)</p>
<p>留 意 事 項</p>	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
妊娠・分娩・産褥の生理と病態	講義 演習	1	30	1年次 前期	福田 詩子 長田 順子 加來 久美 草野 秀一
実務経験のある教員による科目					

授 業 概 要
マタニティーサイクル期にある女性の身体的、精神・心理的、社会的変化をとらえ、正常経過を理解することができる。 また、マタニティーサイクル各期の検査を理解し、正常逸脱の予測ができる。

到 達 目 標
1. 妊娠の生理と心理・社会的変化を理解する。 2. 分娩の生理と心理・社会的変化を理解する。 3. 産褥の生理と心理・社会的変化を理解する。 4. 妊娠・分娩・産褥期の検査について理解する。 5. 不妊治療後の経過を理解する。 6. 超音波画像診断の原理及び使い方が理解できる。 7. 子宮がん検査の実施できる。

事 前 学 習 ・ 事 後 学 習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。 事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	妊娠の生理①	妊娠の概念 妊娠の成立 妊娠の維持	福田
2	妊娠の生理②	妊娠による母体の変化	福田
3	妊娠の生理③	胎児の成長と発達 胎児期における臓器の成熟 胎児付属物	福田
4	妊娠の生理④	妊娠経過に伴うマイナートラブル	福田
5	妊娠期の心理・社会的変化	妊娠期の心理・社会的変化 発達上の危機	福田
6	妊娠期の心理・社会的アセスメント	妊婦と家族の心理・社会的側面の診断	福田
7	分娩の生理	分娩の定義と種類 1) 分娩の定義 2) 分娩の種類 分娩の3要素 1) 産道 2) 娩出力 3) 娩出物 分娩が母体および胎児に及ぼす影響 1) 分娩が母体に及ぼす影響 2) 分娩が胎児に及ぼす影響	長田
8	分娩の心理・社会的変化	分娩期の心理社会的変化 1) 心理的特徴 2) 社会・家族的特徴 3) 妊娠・分娩合併症	長田
9	産褥期の生理	産褥期の身体的変化 1) 産褥の定義 2) 産褥期の全身の変化 3) 産褥期の局所の変化	長田
10	産褥期の心理・社会的変化	産褥期の心理社会的変化とその特徴 1) 心理的特徴 2) 家族の形成と社会的変化 3) 母親役割過程	長田
11	分娩・産褥期の経過及び健康生活①	分娩・産褥期の心理・社会的側面の診断	長田
12	分娩・産褥期の経過及び健康生活②	不妊症と不妊治療後妊娠と産褥	加來
13	周産期の用いられる検査①	【技術演習】 超音波診断の基本 妊娠各期の超音波検査 分娩期・産褥期の超音波検査	草野
14	周産期の用いられる検査②	妊娠期 1) 基礎体温 2) 尿検査 3) 血液学的検査 4) 胎盤機能検査 分娩期 1) 分娩監視装置 2) 判読の基本 3) NST・CST	草野
15	周産期の用いられる検査③	【技術演習】 1) 子宮がんの病態生理 2) 検査 細胞診	草野

評 価	終講試験（100点）：福田（35点） 長田（35点） 加來（10点） 草野（20点）
テ キ ス ト	助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ（医学書院） 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期（医学書院） 助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期（医学書院） 助産学講座 2 基礎助産学[2]母子の基礎科学（医学書院） 周産期超音波のみかた（メディカ出版） 胎児心拍数モニタリング講座（メディカ出版） 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA） 標準産婦人科学（医学書院） 実践マタニティ診断（医学書院） マタニティ診断ガイドブック（医学書院）
参考図書等	今日の助産（南江堂） 助産業務ガイドライン（日本助産師会） 産婦人科診療ガイドライン 産科編（日本産婦人科学会） 資料
留 意 事 項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
新生児・乳幼児の生理と病態	講義 演習	1	30	1年次 前期	福田 美和子 秋原 美華 堤 幸子 實崎 美奈 松村 美由紀
実務経験のある教員による科目					

授 業 概 要

新生児期・低出生体重児・早産児、乳幼児の形態・機能的特性を理解し、適応過程や成長発達過程を理解する。
また、ハイリスク児の起こりやすい疾患の病態と診断・治療について学び、状態判断と初期処置のできる技術を習得する。
さらに胎児・新生児の発育発達に及ぼす環境要因を理解し、出生時の状態と予測できる。

到 達 目 標

1. 新生児の生理的特徴を理解する。
2. 新生児の疾患について理解する。
3. 低出生体重児・早産児の特徴と疾患を理解する。
4. ハイリスク新生児のケアについて理解する。
5. 乳幼児の生理及び成長と発達について理解する。
6. 乳幼児の疾患について理解する。
7. モデル人形にて新生児蘇生法を習得する。
8. 胎児・新生児・乳幼児の発育発達に及ぼす環境要因を理解する。

事 前 学 習 ・ 事 後 学 習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	新生児の生理的経過	新生児の定義と特徴 新生児の適応生理 1) 呼吸器系の適応 2) 循環器系の適応 3) 体温調節 4) 肝機能の適応 5) 消化器系の適応 6) 水分・電解質バランスと腎機能の適応 7) 免疫系の適応 8) 行動と感覚器系の適応	福田
2	正常経過逸脱状態にある新生児の診断	症状と診断 1) 呼吸障害 2) チアノーゼ 3) 嘔吐と腹部膨満 4) 吐血・下血 5) 痙攣 6) 麻痺 7) 発熱と低体温 8) 心雑音 9) なんとなく元気がない 主な治療 1) 呼吸管理 2) 輸液管理 3) 光線療法 4) 経腸ケア	福田
3	新生児・早産児・低出生体重児の疾患と主な治療①	1) 新生児低血糖症 2) 敗血症 3) 低カルシウム血症 4) 新生児ビタミン K 欠乏症 5) 新生児高ビリルビン血症、核黄疸 6) 新生児メレナ 7) 腸閉塞 8) 感染症	秋原
4	新生児・早産児・低出生体重児の疾患と主な治療②	1) 栄養障害 2) 消化器系疾患 3) 呼吸器系疾患 4) 内分泌疾患 5) 代謝性疾患 6) 整形外科的疾患 7) 尿・生殖器疾患	秋原
5	新生児・早産児・低出生体重児の疾患と主な治療③	低出生体重児・早産児の分類と特徴 主な疾患の病態・診断・治療 1) 呼吸器疾患 ① TTN ② MAS ③ 気胸・縦隔気腫 2) 低出生体重児・早産児の予後・経過 3) 先天性代謝異常症	秋原
6	ハイリスク新生児・低出生体重児・早産児のケア	ハイリスク新生児のケアの基本 生理学的適応を助けるケア	實崎
7	低出生体重児・早産児のアセスメントとケア①	神経学的発達を助けるケア	實崎
8	低出生体重児・早産児のアセスメントとケア②	親・家族のケアと基本	實崎
9	乳幼児の生理と成長・発達	乳幼児の生理及び発達と成長	堤
10	乳幼児の疾患	乳幼児に起こりやすい疾患 1) 感染性疾患 2) 皮膚疾患 3) 悪性新生物 4) 血液疾患	堤

回数	単元	内容	担当教員
11	乳幼児の疾患	乳幼児に起こりやすい疾患 1) アレルギー性疾患 2) 膠原病および類縁疾患 3) 循環器系疾患 4) 中枢神経系・筋肉疾患等	堤
12	新生児仮死と新生児蘇生法 (NCPR)	出生直後の児の評価 確認テスト プレテスト	松村
13	新生児仮死と新生児蘇生法 (NCPR)	NCPR Aコース 講義	松村
14	新生児仮死と新生児蘇生法 (NCPR)	基本手技	松村
15	新生児仮死と新生児蘇生法 (NCPR)	ケースシナリオ ポストテスト	松村

評価	終講試験 (100点) : 福田 (25点) 秋原 (25点) 堤 (25点) 實崎 (25点) 新生児蘇生法 (NCPR) 松村 : プレテスト、ポストテスト
テキスト	助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院) 新生児学入門 (医学書院) 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア (日本看護協会出版会) 新生児蘇生法テキスト 2020 (メジカルビュー社)
参考図書等	NICU マニュアル (金原出版)
留意事項	新生児蘇生法Aコース講習

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産学研究	講義 演習	1	30	1年次 通期	田出 美紀 専任教員
実務経験のある教員による科目					

授業概要
助産研究の意義・方法を学び、エビデンスに基づく助産展開に必要な文献検討の力を高める。 事例研究の展開から自己のケアを振り返り、事例から得られた知見を臨床的・学術的に今後の助産師活動に活かしていく。

到達目標
1. 助産学研究の目的と意義を理解する。 2. 研究を進める方法を理解する。 1) 研究テーマを焦点化するプロセスがわかる。 2) 研究方法の決定プロセスとオリジナルデータ収集の概要がわかる。 3) 文献検討に取り組むことができる。 3. 研究計画立案と研究の実施プロセスがわかる。 4. 事例研究を展開する。

事前学習・事後学習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。 事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	○					◎

回数	単元	内容	担当教員
1	助産研究とは	看護に対する問題意識と看護研究の関係 1. 助産研究の目的・意義 2. 看護上の疑問や課題	田出
2	研究テーマの焦点化と文献検索と検討	1. 研究テーマを焦点化するプロセス 2. 文献検索と資料の活用方法 3. 文献の整理 4. 文献のクリティーク(批評, 評論)	田出
3	学習課題の明確化	研究資料から研究疑問を整理し、学習課題を明確にする。	田出
4	研究方法の決定プロセスと研究方法	1. 研究方法決定 2. データ収集・生成方法 3. 倫理的配慮 4. 量的研究・質的(記述統計、推測統計) 5. 質的・帰納的研究 6. 混合法	田出
5	研究計画立案と研究の実施	1. 研究計画書の構成要素 2. 概念枠組み 3. 研究デザイン 4. 研究倫理 5. 研究方法の決定 6. データ収集 7. データ分析文献検討	田出
6	文献検索(演習)	1. 学習課題に関連した文献の検索、収集	田出
7	文献検討(演習)	論文のクリティーク	田出
8	事例研究	1. 事例研究の動機・目的 2. 先行研究レビュー 3. 研究仮説 4. 研究デザインとデータの収集・分析 5. 結果と文献レビュー 6. 論文執筆	田出
9	事例研究の実際 ①	事例研究 1. 研究計画書立案 2. 研究の展開	田出
10	事例研究の実際 ②	事例研究の展開	田出
11	事例研究の実際 ③	事例研究の展開	専任教員
12	論文作成	論文の構成及び抄録の作成	専任教員
13	論文作成	論文の構成及び抄録の作成	専任教員
14	事例研究のまとめ	研究論文発表	専任教員
15	事例研究のまとめ	研究論文発表	専任教員

評価	研究論文にて評価 (100点)
テキスト	基礎助産学1 基礎助産学[1]助産学概論 (医学書院)
参考図書等	黒田裕子の看護研究 step by step (医学書院) 看護研究 原理と方法 (医学書院)
留意事項	助産セミナーにより発表も評価に加味する

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産過程・技術学 I (妊娠・胎児期)	講義 演習	1	30	1 年次 前期	松田 廣実 松尾 有美 松山 まどか
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授業概要
妊娠各期における妊婦及び胎児の健康状態をアセスメントできる知識・技術を修得し、経過診断・健康生活診断ができる能力を身につける。さらに、個々の妊婦や家族・集団の状況に合わせ、望ましい健康習慣を修得できるよう保健指導実践のためのポイントを理解する。

到達目標
1. 妊娠各期の妊婦・胎児の健康診査に必要な技術を修得する。 2. 妊娠期の経過診断、健康生活の診断ができる。 3. 妊娠各期の保健指導事項を理解し、指導のポイントが理解できる。 4. 周産期に用いられる検査法の原理及び実施方法が理解できる。

事前学習・事後学習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。 事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		

回数	単元	内容	担当教員
1	妊娠期のフィジカルアセスメント①	妊娠の診断 1) 妊娠の診断方法 2) 分娩予定日の算定 3) 妊娠週数の算定 4) 分娩予定日の修正	松田
2	妊娠経過の診断 胎児発育・健康状態の診断	1) 母体の健康状態のアセスメント バイタルサイン、血液検査、尿検査、排泄機能、浮腫 2) 体重管理 3) 胎児の位置の診断 4) 子宮底長、腹囲計測 5) 子宮収縮 6) 胎児附属物(羊水量・胎盤の位置) 7) 感染症	松田
3	妊娠期のフィジカルアセスメント②	妊婦の健康診査 妊婦の健康診査に必要な技術 1) 問診 2) 外診 3) 視診 4) 内診 5) 外診：聴診(ドップラー診、トラウベ) レオポルド触診、骨盤外計測	松田
4	妊婦への支援	日常生活行動の診断 1) 食事と栄養 2) 嗜好品 3) 活動、運動、姿勢 4) 移動、旅行 5) 睡眠、休息 6) 排泄行動 7) 清潔行動 8) 衣生活 9) 性生活	松田
5	妊婦への支援①	日常生活適応へのケア 1) 栄養摂取と食生活行動 2) 体重変化 3) 内分泌かく乱化学物質 4) 正しい姿勢と日常生活動作 5) 運動、体操 6) 移動・旅行 7) 睡眠・休息 8) 排泄、排泄習慣行動 9) 身体の清潔 10) 皮膚の変化 11) 口腔衛生 12) 衣服・靴 13) 嗜好品 14) 性生活 15) 妊娠期のマイナートラブルへの支援	松田
6	妊婦への支援②	着帯、骨盤ベルトの実際 正しい姿勢と日常生活行動 運動・体操の支援 骨盤位の矯正、逆子体操	松田
7	妊婦への支援③	健康生活の診断と保健指導 1) 妊婦とその家族への保健指導 母子健康手帳の活用 定期健康診査受診の推奨 助成券	松田
8	妊婦と家族の心理・社会的側面の診断	妊婦・家族の心理・社会的特徴と支援 1) 現状と課題	松尾
9	妊婦への心理・社会的支援	妊婦の心理面への支援 新しい家族関係形成への支援 出産・育児期の準備支援(社会的資源の活用)	松尾
10	妊婦の就労女性への支援	就労妊婦をとりまく課題や負担 就労妊婦のアセスメントの視点 就労女性に対する母性保護規定・制度 母性健康管理指導事項連絡カード	松尾
11	周産期に用いられる検査法と介助	妊娠初期の超音波診断 1) 正常妊娠の確認、妊娠週数の決定・補正 分娩監視装置の実際 1) 分娩監視装置とは ・分娩監視装置の原理と読み方、装着方法 2) NST 検査 陣痛計と児心音の装着	松田
12 13	妊婦健康診査演習	【技術チェック】 腹囲・子宮底測定、浮腫、尿検査、血圧測定、レオポルド触診法、ザイツ法 胎児心音聴取(ドップラー・トラウベ)、骨盤外計測 分娩監視装置の装着 NST 検査	松田

回数	単元	内容	担当教員
14	親になる準備へのケア	親役割の準備への支援 1) 母親役割 2) 父親役割 家族の役割機能の変化に対応する支援	松山
15	親になる準備のケア	出産準備教育(育児準備教育) 1) 母親学級・両親学級・祖父母学級 2) 現代における出産準備教育の重要性 3) 母親学級の方法とプログラムの実際	松山

評価	終講試験 (100点): 松田 (80点) 松尾 (20点)
テキスト	助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ (医学書院) 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ 妊娠期 (医学書院) 実践マタニティ診断 (医学書院) 周産期超音波の見かた (メディカ出版) 今日の助産 (南江堂) 母子健康手帳 助産師基礎教育テキスト第4巻・第7巻 (日本看護協会出版会) 病気が見える⑩ 産科 (MEDIC MEDIA) 胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版)
参考図書等	助産師のためのフィジカルイグザミネーション (医学書院) 心に寄り添う助産術実践テキスト (メディカ出版)
留意事項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
助産過程・技術学Ⅱ(分娩期)	講義 演習	2	45	1年次 前期	田坂 真恵美 浦部 きくえ
実務経験のある教員による科目		臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う			

授 業 概 要

分娩期の経過診断能力、健康生活診断能力に必要な技法を修得し、分娩各期の支援について理解することができる。正常経過にある産婦の基本的な分娩介助技術を習得し、安全・安楽なケアができる能力を身につける。その上で、様々な体位での分娩介助法について考え演習する。

- 到 達 目 標**
1. 分娩期の経過診断について理解できる。
 2. 正常分娩介助技術の方法が理解できる。
 3. 正常分娩介助時の技術が習得できる。
 4. 出生直後の新生児のケアについて理解できる。
 5. さまざまな体位での分娩介助法の方法が理解できる。
 6. 産婦の支援の方法が理解できる。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	分娩期のフィジカルアセスメント①	産婦の健康診査 分娩開始の診断 1) 陣痛発来の予知 2) 分娩開始	田坂
2	分娩期のフィジカルアセスメント②	分娩期の経過診断: 娩出力 産道 胎児の位置 分娩進行状態 母体の健康状態	田坂
3	分娩期のフィジカルアセスメント③	胎児の健康状態 1) 胎児の発達・発育	田坂
4	分娩期のフィジカルアセスメント④	胎児附属物: 羊水の評価 破水の診断 臍帯下垂・脱出 附属物の検査と計測: 検査の必要性 観察項目 計測の実際 胎内環境評価	田坂
5	分娩介助の意義・原理	分娩介助の意義・原理 1) 分娩室の準備 2) 必要物品の準備 3) 産婦の準備と介助者の準備 4) 介助者の手指消毒の方法 5) 外陰部消毒の時期と方法 正常分娩介助法の原理 1) 正常分娩の娩出機転	田坂
6	分娩介助時の技術	分娩介助技術 1) 洗腸 2) 導尿 3) 努責の誘導 4) 肛門圧迫・保護 5) 会陰保護 6) 児頭娩出 7) 体幹娩出 8) 児のケア 9) 胎盤娩出	田坂
7	分娩介助に関わる技術演習①	【技術チェック】内診技術(妊娠期の内診含む) 【技術演習】人工破膜技術演習	田坂 専任教員
8	分娩介助に関わる技術演習②	分娩介助基礎技術演習 (回旋、外陰部消毒、肛門保護と会陰保護)	田坂 専任教員
9 10	分娩介助技術演習①	分娩野作成 デモスト・演習	田坂 専任教員
11 12	分娩介助技術演習②	分娩介助技術 デモスト・演習	田坂 専任教員
13	分娩介助技術演習③	胎盤計測 分娩介助技術練習	田坂
14	分娩進行状態の診断	分娩経過の予知 フリードマン頸管開大曲線による分娩経過	田坂
15	産婦の支援①	産婦の支援について 1) 産痛の緩和 2) 自由な姿勢 3) 継続的なサポート 4) 分娩進行にともなう基本的ニーズの変化	田坂

回数	単元	内容	担当教員
16	産婦の支援②	分娩経過に沿った産婦の支援① 1) 入院前 : 電話対応 2) 入院時 : 情報収集 内診 破水の診断 分娩監視装置の装着 分娩予測	田坂
17	産婦の支援③	分娩経過に沿った産婦の支援② 分娩第1期 : 産痛緩和 リラクゼーション	田坂
18	産婦の支援④	分娩経過に沿った産婦の支援③ 1) 分娩第2期 2) 分娩第3期 3) 分娩後2時間	田坂
19 ~ 21	分娩介助技術テスト	【分娩介助技術チェック】 分娩介助にかかる手技	田坂 全教員
22 23	分娩介助技術演習⑤	フリースタイル分娩介助技術 1) フリースタイル分娩の意義 2) フリースタイル分娩の原理と実際 (1) 仰臥位分娩 (2) 側臥位分娩 (3) 四つん這い分娩 (4) 座位・蹲踞位	浦部

評価	終講試験 : 田坂 (100点)
テキスト	助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2]分娩期・産褥期 (医学書院) 助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア (日本看護協会出版会) 胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版) 正常分娩の助産術 (医学書院) 実践マタニティ診断 (医学書院) マタニティ診断ガイドブック (医学書院) 病気がみえる⑩ 産科 (MEDIC MEDIA) 今日の助産 (南江堂) 臨床助産師必携 (医学書院) 写真でわかる助産技術 (インターメディカ) 標準産婦人科学 (医学書院) 助産力 (日本看護協会出版会) 子宮力 (日本看護協会出版会)
参考図書等	心により添う助産術実践テキスト (メディカ出版) オキシトシン (晶文社) WHOの59ヶ条お産のケア実践ガイド (農文協)
留意事項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
助産過程・技術学Ⅲ(産褥期・子育て期)	講義 演習	1	30	1年次 前期	田中 真弓 松山 まどか
実務経験のある教員による科目					

授 業 概 要

褥婦及び子育て期にある褥婦の身体的、精神・心理、社会的特徴を理解し、産褥・産後期の経過診断と健康生活診断能力を修得する。
母乳育児支援については、乳房の解剖生理から哺乳行動や育児技術、乳房ケアの実際と学び、親役割獲得に向けた具体的支援方法を習得する。

到 達 目 標

1. 褥婦の健康診査に必要な技術を習得する。
2. 褥婦への支援の方法を理解する。
3. 母乳育児の意義を理解し母乳支援方法を習得する。
4. 産褥・産後期の生活をふまえた健康教育の支援方法を習得する。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	褥婦の健康診査	産褥期の助産過程 1) 全身の変化と特徴 2) 局所的な変化と特徴 (1) 褥婦の健康診査に必要なフィジカルイグザミネーション ①問診 ②外診 ③内診 ④生化学的・生理学的検査	田中
2	褥婦の経過診断	産褥期のフィジカルアセスメント 産褥経過の診断 母乳栄養確立の診断	田中
3	褥婦への支援①	退行性変化促進の支援 1) 子宮復古促進のためのケア 2) 会陰部創傷の治癒促進	田中
4	褥婦への支援②	日常生活適応の支援 1) 心身の安楽 2) 体力の回復 3) 疲労を増強させないケア	田中
5	褥婦への支援③	心理・社会的側面の支援	田中
6	褥婦への支援④	家庭・社会生活復帰への支援 育児行動取得への支援 (演習)	田中
7	家族への生活支援	家庭・社会生活復帰への支援 育児行動取得への支援 家族への支援 (演習)	田中
8	家族計画指導	産後の性生活 産後の家族計画 産後の受胎調節指導	田中
9	子育て期の助産過程	子育ての変遷 子育て期の母親のおかれている現状と課題 子育て期の助産診断とケア	田中
10	母乳育児支援①	産褥期の乳房管理のための診断 1) 産褥期の乳房診断に必要な技術 2) 母乳栄養確立の診断	松山
11	母乳育児支援②	乳房管理のためのアセスメントとケア 1) 母乳栄養確立へのケア 2) 育児行動取得に対するケア	松山
12	母乳育児支援③	健康逸脱・異常状態およびハイリスク状態にある褥婦の乳房管理 1) 異常状態・合併症の予防とケア 2) 特殊な状況にある褥婦のケア	松山
13	母乳育児支援④	児の哺乳行動・哺乳サイン 吸着・吸吸支援	松山
14	母乳育児支援⑤	母乳分泌促進法(乳房マッサージ)・抑制法 乳房の自己管理	松山
15	母乳育児の推進	母乳育児の現状と課題 母乳推進の歴史 母乳代用品の国際基準と安全性 母乳育児のための社会資源	松山

評 価	終講試験 (100点) : 田中 (60点) 松山 (40点)
テ キ ス ト	助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ (医学書院) 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2]分娩期・産褥期 (医学書院) 助産師基礎教育テキスト 第6巻・第7巻 (日本看護協会出版会) 今日の助産 (南江堂) 実践マタニティ診断 (医学書院) マタニティ診断ガイドブック (医学書院) 標準産婦人科学 (医学書院) 受胎調節指導用テキスト (日本家族計画協会) 母乳育児支援業務基準 乳腺炎ケアガイドライン 2020 (日本助産師会) 母乳育児支援講座 (南山堂)
参 考 図 書 等	病気が見える⑨ 婦人科・乳腺外科 (メディックメディア) 病気が見える⑩ 産科 (メディックメディア)
留 意 事 項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産過程・技術学IV(新生児・乳幼児期)	講義 演習	1	30	1年次 前期	田中 真弓 阿南 美奈子 松尾 有美

実務経験のある教員による科目 臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う

授 業 概 要

新生児の子宮外生活への適応過程と乳幼児の成長・発達を促し、生理的過程の経過をフィジカルイグザミネーションの技術を通し、経過診断と健康生活診断ができる。また、新生児に行われるスクリーニング検査の必要性と実際を理解する。

到 達 目 標

1. 新生児医療の視点と生命倫理について考える。
2. 新生児のフィジカルアセスメントができる。
3. 新生児の観察に必要な技術を習得する。
4. 新生児の検査・与薬・治療の目的・内容と方法を理解する。
5. 乳幼児のフィジカルアセスメントができる。
6. 乳幼児の健康診査に必要な技術を習得する。
7. 新生児・乳幼児期の起こりやすい事故とその予防・対処について理解する。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	新生児医療の視点と生命倫理	新生児のケア 1) 新生児ケアの視点 2) 新生児医療における生命倫理	田中
2	新生児の観察とケア①	新生児のフィジカルアセスメント 1) 外観 2) バイタルサイン 3) 皮膚 4) 皮膚色 5) 頭部 6) 顔面 7) 体幹 8) 性器 9) 四肢 10) 神経学的状態	田中
3	新生児の観察とケア②	出生時のケア 1) リスク因子の確認 2) 蘇生の必要性の評価とケア方針の決定 3) ルーチンケア 母親と相互作用や家族との関わり 1) 母子早期接触の適応基準と実際 2) カンガルーケアの適応基準	田中
4	新生児の観察とケア③	出生後 24 時間以内のアセスメントとケア 1) バイタルサイン 2) 呼吸と体温の維持 3) 哺乳と排泄 4) 出生直後の身体清潔 5) 感染予防 6) 安全確保	田中
5	新生児のケア	24 時間以降の早期新生児のケア 1) 栄養 2) 排泄 3) 新生児の皮膚の清潔: 沐浴、ドライテクニック 4) 感染予防 5) 新生児の安全の確保 6) 注意を要する一般的な問題 7) 母親と相互作用や家族との関わり	田中
6	新生児の身体清潔	【演習】 出生直後のケア 1) バイタルサイン 2) 諸計測 3) 成熟度評価	田中
7	新生児のケアの実際①	【演習】 沐浴指導	田中
8	新生児のケアの実際②	新生児の退院指導・沐浴見学指導案作成	田中
9	新生児のケアの実際③	新生児についての退院指導 ロールプレイ(演習)	田中
10	新生児・乳幼児の検査と与薬・治療①	新生児の検査 1) 臍帯血ガス 2) 血糖検査 3) 採血 4) 採尿 マスクリーニング検査 1) 先天性代謝異常 2) 聴力検査 3) 黄疸 与薬: K2 シロップ	阿南
11	新生児・乳幼児の検査と与薬・治療②	【演習】 1) 採血(血清総ビリルビン検査) 2) 7 採尿 採尿バック装着 3) 光線療法(ビルベット) 4) 保育器の取り扱い 5) ポジショニング	阿南

回数	単元	内容	担当教員
12	乳幼児の健康診査に必要な技術①	乳幼児の発育発達と健康診査 乳幼児の健康診査とフィジカルアセスメント 1) 乳幼児健康診査の変遷 2) 乳幼児健康診査の目的と意義 3) 乳幼児健診が行われる場 4) 乳幼児健康診査に必要な技術 5) 家庭生活への移行とフォローアップ	松尾
13	乳幼児の健康診査に必要な技術②	乳幼児健康診査の実際 1) 1ヶ月児健康診査 2) 4ヶ月児健康診査 3) 1歳6ヶ月児健康診査 4) 3歳児健康診査 5) 健康診査と事後フォロー 6) 育児支援としての健康診査 7) 多職種連携	松尾
14	新生児・乳幼児期の事故とその予防・対処	誤嚥・誤飲 溺水 熱傷 外傷 中毒	阿南
15	まとめ	振り返り まとめ	田中

評価	終講試験（100点）：田中（60点） 阿南（25点） 松尾（15点）
テキスト	助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期（医学書院） 助産師基礎教育テキスト 第6巻（日本看護協会出版会） 新生児学入門（医学書院） お母さんがもっと元気なる乳児健診（メディカ出版） 実践マタニティ診断（医学書院） マタニティ診断ガイドブック（医学書院） 今日の助産（南江堂） 臨床助産師必携（医学書院） 新生児蘇生法テキスト 2020（メジカルビュー社）
参考図書等	改訂版乳幼児健康診査 身体診察マニュアル 写真でわかる助産技術アドバンス（インターメディカ） 助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩・産褥期（医学書院） 助産師基礎教育テキスト 第4巻・第7巻（日本看護協会出版会） 母子健康手帳
留意事項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
助産過程方法論	講義 演習	1	15	1年次 前期	阿南 美奈子 田坂 真恵美 田中 真弓
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授 業 概 要

助産を実践するための助産過程の概要を理解し、構成要素である助産診断過程及び助産実践過程を展開する能力を身につける。
紙上事例を通して、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期・子育て期(産後期)各期の個別性に応じたケアを導くことができる。

到 達 目 標

1. 助産過程と助産診断について理解する。
2. マタニティーサイクル各期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期・子育て期(産後期))における助産過程の実際を理解する。

事前学習・事後学習

事前学習：各期の診断指標について、テキストを用い理解する。
事後学習：診断のポイントのレクチャー後は追加・修正を行う。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	○		◎			

回数	単 元	内 容	担当教員
1	助産診断・技術学の概要	1) 助産過程の概要 2) 助産過程の定義と意義 3) 助産診断学の概要 4) 助産診断の意義と独自性 5) 助産診断の分類 6) 助産診断と臨床推論	阿南
2	助産実践課程の概要	1) 助産技術学の概要 2) 助産技術の意義 3) 基盤助産師術学の内容 4) 助産技術学の実践過程 5) 助産診断・助産技術学の理論構築に向けて	阿南
3	助産過程の実際 妊娠期の助産過程	1) 情報収集・アセスメント 2) 助産診断 3) 助産計画 4) 実施 5) 評価 6) マタニティーサイクル各期の診断の特徴と診断類型 紙上事例をもとに展開	阿南
4	分娩期の助産過程①	紙上事例をもとに展開	田坂
5	分娩期の助産過程②	紙上事例をもとに展開	田坂
6	産褥期・新生児期の助産過程①	紙上事例をもとに展開	田中
7	産褥期・新生児期の助産過程②	紙上事例をもとに展開	田中
8	産後(子育て)期の助産過程 の展開	紙上事例をもとに展開	田中

評 価	事例展開の課題レポート(100点)
テ キ ス ト	助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ (医学書院) 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1]妊娠期 (医学書院) 助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2]分娩期・産褥期 (医学書院) 助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3]新生児・乳幼児期 (医学書院) 実践マタニティ診断 (医学書院) マタニティ診断ガイドブック (医学書院)
参 考 図 書 等	今日の助産 (南江堂) 産婦人科診療ガイドライン 産科編 (日本産婦人科学会) 胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版) 周産期超音波の見かた (メディカ出版) 助産業務ガイドライン(日本助産師会)
留 意 事 項	紙上事例の情報の解釈は、テキスト・副読本など複数を用い解釈を行う。

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
ウイメンズヘルスケア	講義 演習	1	30	1年次 前期	松田 廣美
実務経験のある教員による科目		臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う			

授 業 概 要

女性のライフサイクル各期の特徴と健康全般に対するの支援について理解し、セクシュアリティとリプロダクティブヘルス・ライツにかかわる健康問題を0抱える対象者への支援に必要な知識と具体的なケアを学ぶ

到 達 目 標

1. 助産師に求められるウイメンズヘルスケア能力が分かる。
2. 相談・教育活動の技術について理解する。
3. 相談・教育活動の実際を理解する。
4. 指導の展開方法を理解できる。
5. 女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題への援助を理解する。
6. 健康教育の実施ができる。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	○				◎	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	助産師に求められるウイメンズヘルスケア能力	1) 現代社会と女性の健康問題 2) リプロダクティブヘルス・ライツに基づく支援とウイメンズヘルスケアの基盤となる能力 3) 女性のライフサイクル各期の特徴と健康課題	松田
2	相談・教育の基礎	相談・教育の対象理解 1) 助産師と成人教育 2) 相談・教育の理論 3) 意思決定支援 4) 学習理論	松田
3	相談・教育の実際①	助産師による個別相談の展開のプロセス 教育技術の基本 1) アクティブラーニング 2) 学習者のニーズとレディネス 3) 学習環境と方法 4) 教材・媒体の工夫	松田
4	相談・教育の実際②	個別相談の方法 1) 場・手段によるアプローチ 2) 個別の相談場面によるアプローチ 集団指導教育の方法 1) 集団(コミュニティ)へのアプローチ 2) 集団への相談・教育活動の実際	松田
5	相談・教育の実際③	1) 健康教育とは 2) 健康教育の準備・計画 3) 健康教育における教育技術 4) 健康教育の展開 5) 健康教育の評価	松田
6	女性のライフサイクルの対象理解と支援①思春期	思春期の身体・心理・社会的特徴 1) 月経異常 2) 性感染症 3) 思春期健康教育(性教育・プレコンセプションケア)	松田
7	女性のライフサイクルの対象理解と支援②成熟期	成熟期の身体・心理・社会的特徴 1) 不妊 2) 人工妊娠中絶 3) 性暴力 4) 避妊相談・避妊法 5) 家族計画の意義と指導方法	松田
8	女性のライフサイクルの対象理解と支援③更年期・老年期	更年期・老年期の身体・心理・社会的特徴 1) 女性生殖器疾患 2) 更年期障害 3) 骨粗鬆症	松田
9	ライフステージ別支援演習① 思春期	思春期の健康問題を抱える対象者への健康教育指導案の作成 1) 演習オリエンテーション(プレコンセプションケア) 2) 健康教育計画案作成:グループワーク、グループ発表 3) ディスカッション *10月実施に向け準備	松田
10	ライフステージ別支援演習② 成熟期	成熟期の健康問題を抱える対象者への健康教育指導案の作成 1) 事例紹介(周産期事例) 2) 指導案作成:グループワーク 3) 健康教育指導案のグループ発表(ロールプレイを含む) 4) ディスカッション	松田

回数	単元	内容	担当教員
11	ライフステージ別支援演習③ 更年・老年期	更年期・老年期の健康問題を抱える対象への健康教育指導案の作成 1) 事例紹介 2) 指導案作成:グループワーク 3) 健康教育指導案のグループ発表 (ロールプレイを含む) 4) ディスカッション	松田
12	プレコンセプションケア	指導の準備 : グループワーク	松田
13	プレコンセプションケア	指導の準備 : グループワーク	松田
14	プレコンセプションケア	健康教育発表 (プレコンセプションケア)	松田
15	プレコンセプションケア	指導の振り返り・評価 : グループワーク	松田

評価	終講試験 (50点) 指導の展開 (50点)
テキスト	助産学講座 1 基礎助産学[1]助産学概論 (医学書院) 助産学講座 2 基礎助産学[2]母子の基礎科学 (医学書院)、 助産学講座 5 助産診断・技術学 I (医学書院) 助産学講座 6 助産診断・技術学 II [1]妊娠期 (医学書院) 助産学講座 7 助産診断・技術学 II [2]分娩期・産褥期 (医学書院)、 受胎調節指導用テキスト (日本家族計画協会)
参考図書等	助産師による思春期健康教育 (日本助産師会出版) 助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウィメンズヘルスケア (日本看護協会出版会) 病気が見える⑩ 産科 (MEDIC MEDIA) 産婦人科診療ガイドライン 産科編 (日本産婦人科学会) 標準産科婦人科学 (医学書院)
留意事項	評価に発表会参加度も加味する。

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
周産期ハイリスクケア	講義 演習	2	30	1年次 前期	草野 秀一 田坂 真恵美 田中 真弓 松尾 有美
実務経験のある教員による科目					

授業概要
ハイリスク状態にある妊産婦の健康状態の正常からの逸脱を診断し、適切な援助を提供する基礎的、さらに高次の助産診断・EBMをふまえた援助技術について理解する

到達目標
1. 妊娠・分娩・産褥期の異常や合併症の病態生理と診断について理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥期の異常や合併症における管理、治療について理解できる。 3. ハイリスク状態にある妊娠・分娩・産褥期の管理、治療に伴うケアについて説明できる。 4. 周産期の異常に基づく緊急時の対処法や、他職種との連携を説明できる。

事前学習・事後学習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。 事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		

回数	単元	内容	担当教員
1	ハイリスク・異常妊婦の生理と病態①	切迫流産・早産と過期産 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病	草野
2	ハイリスク・異常妊婦の生理と病態②	妊娠悪阻 異所性妊娠 常位胎盤早期剥離	草野
3	ハイリスク・異常妊婦の生理と病態③	呼吸器疾患：気管支喘息 心臓・血管疾患：心疾患合併妊娠と母体死亡率、深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症 代謝・内分泌疾患：妊娠糖尿病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症 自己免疫疾患：全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群	草野
4	ハイリスク・異常妊婦の生理と病態④	感染症：梅毒、風疹、麻疹、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペス バルボウイルス感染症、サイトメガロウイルス、トキソプラズマ A・B群溶血性連鎖球菌、HTLV-1、HIV、B型肝炎、C型肝炎、 外科疾患：虫垂炎、	草野
5	ハイリスク・異常妊婦の生理と病態⑤	婦人科疾患：子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮頸癌、乳癌 血液疾患：特発性血小板減少性紫斑病 泌尿器科疾患：尿路感染症 肝・胆道疾患：妊娠中の胆石症 精神疾患合併妊娠：てんかん 統合失調症	草野
6	ハイリスク・異常分娩の生理と病態①	娩出力の異常：微弱陣痛、過強陣痛 産道の異常：軟産道強靱、児頭骨盤不均衡 娩出物の異常：体位・胎勢・回旋の異常 胎児機能不全 付属物の異常：臍帯巻絡・臍帯下垂・臍帯脱出、癒着胎盤、	草野
7	ハイリスク・異常分娩の生理と病態②	分娩にともなう偶発疾患・合併症 恥骨結合離開、子宮破裂、弛緩出血、子宮内反、産科ショック、DIC、羊水塞栓	草野
8	ハイリスク・異常分娩の生理と病態③	産科処置・産科手術 1. 陣痛促進・誘発分娩 2. 会陰切開 3. 吸引分娩・鉗子分娩 4. 子宮出血の止血法 5. 胎盤用手剥離術 6. 子宮内反症の整復 7. 無痛分娩 8. 帝王切開術 9. 子宮頸管縫縮術 10. 子宮内容除去術 産科麻酔の実際 1. 帝王切開術の麻酔 2. 無痛分娩法	草野
9	ハイリスク・異常褥婦の生理と病態	子宮復古不全 産褥熱 乳房・乳腺の疾患 産褥精神異常	草野
10	ハイリスク・異常分娩の生理と病態	母体損傷：頸管裂傷、膣・会陰裂傷、膣・外陰血腫 【技術演習】会陰切開・縫合術	草野

回数	単元	内容	担当教員
11	ハイリスク・異常妊婦のアセスメントとケア①	身体的ハイリスク因子のアセスメント 1. 全身状態の観察・バイタルサイン 2. 産科歴 3. 基礎疾患を持つ妊婦の管理 心理的・社会的ハイリスク因子のアセスメント 1. 妊娠の受容 2. 出産体験 3. 家族関係 4. 婚姻 5. 経済状況 身体的ハイリスク・異常妊婦への支援 1. 異常妊婦へのケア : 妊娠悪阻 切迫流産・早産 妊娠高血圧症候群 妊娠貧血 前置胎盤 常位胎盤早期剥離	松尾
12	ハイリスク・異常妊婦のアセスメントとケア②	合併症をもつ妊婦へのケア : 心疾患 腎疾患 妊娠糖尿病 精神疾患 心理的ハイリスク妊婦へのケア 1. 妊娠の受け入れ困難 2. 出産に対する不安 3. 胎児への愛着形成困難 社会的ハイリスク妊婦へのケア 1. 経済的問題 2. サポート資源の不足 特殊な状況にある妊婦のケア 1. 多胎妊娠 2. 不妊治療後の妊娠 3. 先天異常児の妊娠 4. 若年妊娠 5. 高齢妊娠 6. 被虐待経験者 ペリネイタルロスを経験した両親の理解 1. 母親のメンタルヘルスに及ぼす影響 2. 夫婦関係への影響 3. 子どもを亡くした両親へのケア 1) 人工死産を行う母親へのケア 2) 子どもを亡くした母親の身体的ケア 3) 入院中のグリーフケア 4) 退院後のサポート 5) 次回の妊娠に向けてのケア 妊娠期に行われる産科手術時のケア 1. 人工妊娠中絶術 2. 頸管縫縮術 3. 外回転術	松尾
13	ハイリスク・異常産婦のアセスメントとケア①	身体的ハイリスク因子のアセスメント 1. 全身状態の観察・バイタルサイン 2. 産科歴 3. 分娩の3要素の関係 心理的・社会的ハイリスク因子のアセスメント 1. 妊娠の受容 2. 前回のつらい出産体験 ハイリスク・異常産婦への支援 1. ハイリスク・異常産婦の支援方法 1) 分娩経過の異常への対応 2) 合併症をもつ妊産婦への援助 3) 心理社会的問題をもつ産婦の支援 緊急時の対応 1. 緊急時使用物品と薬物 2. 双合(双手)子宮圧迫法 3. 静脈路の確保 4. 輸血 5. 母児の蘇生技術	田坂
14	ハイリスク・異常産婦のアセスメントとケア②	緊急時の対応 1. 産婦への心理的援助 2. 母体搬送システム 3. BLSの基本 4. 胎児機能不全への対応 産科手術・産科的医療処置 1. 分娩誘発・陣痛促進法 2. クリステレル胎児圧出法 3. 骨盤位牽出術(骨盤位娩出術) 4. 吸引遂娩術 5. 鉗子遂娩術 6. 帝王切開術 産科処置・手術のケア 1. 帝王切開術の麻酔 2. 無痛分娩法	田坂
15	ハイリスク・異常褥婦のアセスメントとケア	ハイリスク・異常褥婦のアセスメント 1. ハイリスク・異常褥婦の支援 1) 産褥期に特有な疼痛に対する支援 2) 異常状態・産褥合併症をもつ褥婦への支援 子宮復古不全 3) 心理的 社会的ハイリスク褥婦への支援 4) 特殊な状況にある褥婦への支援 2. 産褥期に使用する薬物とその影響 1) 産褥期に使用する薬物 2) 授乳と薬物 3. 産褥期の検査 1) 尿検査 2) 血液検査	田中

評価	客観式テスト(100点): 草野 (60点) 松尾 (15点) 田坂 (15点) 田中 (10点)
テキスト	助産学講座 6・7・8 助産診断・技術学Ⅱ [1][2][3] (医学書院) 助産師教育テキスト 第7巻 (医学書院) 産婦人科診療ガイドライン 産科編 (日本産婦人科学会) 胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版) 母乳育児支援業務基準 乳腺炎ケアガイドライン 2020 (日本助産師会)
参考図書等	病気が見える⑩ 産科 (MEDIC MEDIA) 標準産科婦人科学 (医学書院)、 母体急変時の初期対応 第2版 (メディカ出版) マタニティ診断ガイドブック (医学書院)
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産臨床推論	講義 グループ学習 討議・演習	1	15	1年次 前期	田中 真弓 田坂 真恵美
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授業概要

臨床推論の基本的な概念を理解し、助産における診察技術やフィジカルアセスメントのシミュレーションを行い、基本的な助産技術を習得する。助産師としての自律的な判断スキルをもち、適切な時期に、適切な判断ができるための臨床推論に関する知識・技術を習得する。また、事例を用いてのグループ学習を通して臨床推論の学び方を身につける。

到達目標

1. 臨床推論に関連する基本的な概念及び助産における臨床推論の意義を理解する。
2. 臨床推論に用いる基本的な診察技術(医療面接、身体診察、検査等)を理解する。
3. 対象の主訴から疾患の頻度と重症度、緊急度の高い症状・病態の確定診断を絞り込む臨床診断の思考プロセスを習得する。
4. 妊娠・分娩・産褥経過が正常から異常に移行するリスクを速やかに、かつ、適切に判断する力を培う。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎	○		○

回数	単元	内容	担当教員
1	授業ガイダンス 助産推論の概念と意義、診察技術	臨床推論とは 1. 助産診断と臨床推論の相違 2. 助産における臨床推論の意義・有用性 基本的な診察技術(医療面接、身体診察、検査) 京都プロトコール 1. 急変の感知 2. 母体急変の対応、母体搬送 3. 母体の心肺蘇生	田中
2	臨床推論の思考プロセス	臨床推論の思考のプロセスとフィジカルアセスメント 1. 情報収集、予測と鑑別、診断 2. 主訴・症状と疾患の救急度・重症度 鑑別診断(疾患の頻度と緊急性) 確定診断(重症度・緊急度) 3. 症状と疾患のつながり 呼吸困難の緊急度・重症度 産科領域に於ける呼吸困難の緊急度・重症度	田中
3	臨床推論事例展開①	妊娠期によくある主訴 1. 思考のプロセスとフィジカルアセスメント、診断	田坂
4	臨床推論事例展開①	妊娠期事例 1 演習	田坂
5	臨床推論事例展開② 産婦の異常発生時の対応	分娩期によくある主訴 1. 思考のプロセスとフィジカルアセスメント、診断	田坂
6	臨床推論事例展開② 産婦の異常発生時の対応	分娩期事例 2 【技術演習】 産科危機的出血 産婦に対する一次救命処置	田坂
7	臨床推論事例展開③	産褥期事例 3 演習	田中
8	まとめ	グループワーク 課題レポート	田坂

評価	課題レポート(80点) 授業への参加及び演習(20点)から総合的に評価する
テキスト	助産学講座 6・7・8 助産診断・技術学Ⅱ [1][2][3](医学書院)、助産師教育テキスト 第7巻(医学書院)
参考図書等	産科エマージェンシー臨床推論(メディカ出版) 病気が見える⑩ 産科(MEDIC MEDIA)、 産婦人科診療ガイドライン 産科編(日本産婦人科学会)、 標準産科婦人科学(医学書院) 胎児心拍数モニタリング(メディカ出版)、 母体急変時の初期対応 第2版(メディカ出版) マタニティ診断ガイドブック(医学書院)
留意事項	事例の情報の解釈は、テキスト・副読本など複数を用い解釈を行う。

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
地域・国際母子保健	講義 演習	2	30	1年次 前期	松本 八千穂 嶋井 元子 阿南 美奈子
実務経験のある教員による科目					

授業概要

母子保健の全体像を学びながら、地域や諸外国における母子保健を推進する上で必要な母子保健行政の仕組みや制度、社会資源、保健医療福祉関係職種との連携等について、助産師として行う活動の役割を学ぶ。さらに災害時の母子保健活動運営の実際を学ぶ。

到達目標

1. 母子にとって望ましい生活環境について理解する。
2. 地域母子保健の意義・しくみが理解できる。
3. 母子保健の理解できる。
4. 地域母子保健活動の現状が理解できる。
5. 諸外国の母子保健活動を理解する。
6. 災害時の母子保健活動における助産師の役割を学ぶ。

事前学習・事後学習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				◎	○	

回数	単元	内容	担当教員
1	母子にとって望ましい生活環境	母子と生活環境 1. 生活環境と環境汚染 2. 母子と化学物質	阿南
2	地域母子保健の意義	地域母子保健の意義 統計資料の分析	松本
3	母子保健の現状と動向	母子保健をめぐる諸問題と課題 1. 人口・疾病構造の変化 2. 育児・医療環境の変化	松本
4	地域母子保健行政の体系	母子保健行政の進展 母子保健関係法規 国・都道府県・市町村の役割	松本
5	我が国の母子保健行政	母子保健施策 1. 健康日本 21 と健やか親子 21 2. 少子化社会対策大綱と次世代育成支援対策推進法 3. 市町村母子保健計画の推進	松本
6	わが国のおもな母子保健制度	わが国のおもな母子保健制度 1. 母子保健制度の概要 2. 健康診査 3. 保健指導 4. 療養援護 5. 医療対策 6. 予防接種 7. 不妊に対する相談と治療費助成 8. ひとり親家庭の支援 9. 職域における母子保健 10. 女性保護	松本
7	わが国の母子保健施策①	市町村母子保健計画の推進 「わが国の母子保健施策」 1. 中間市、遠賀郡 4 町 における母子保健行政の実際	松本
8	わが国の母子保健施策②	「わが国の母子保健施策」 1. 発表と共有 2. 地域の特殊性と対策	松本
9	地域母子保健活動の基盤	関係機関との連携 地域母子保健ニーズの把握と施策化 地域における合意形成 事業計画の評価・修正・変更案の作成	松本
10	地域母子保健活動の展開①	女性のライフサイクルへの支援 1. 母子保健活動を展開する場と特徴 2. 訪問指導の理論と実際 妊婦 新生児 褥婦 その他	松本
11	地域母子保健活動の展開②	地域組織活動 1. 地域子育て支援活動 2. 地域相談活動	松本
12 13	災害時の母子保健活動	災害時の地域母子保健活動 1. 災害の定義、種類、災害サイクルと各期の対応 2. 避難所運営ゲーム(HUG演習)災害時の母子保健活動	松本

回数	単元	内容	担当教員
14	諸外国の母子保健活動①	諸外国の母子保健活動 1. 母子保健の現状と課題 2. 母子保健施策の現状 3. 開発途上国における母子の問題と母子保健活動の実際 (1)スーダンでの母子保健活動の実際	嶋井
15	諸外国の母子保健活動②	諸外国の母子保健活動 1. 母子保健の現状と課題 2. 母子保健施策の現状 3. 海外在住日本人の母子保健 4. 在日外国人の母子保健	嶋井

評価	終講試験（80点）：松本 課題レポート（20点）：嶋井
テキスト	助産学講座 3 基礎助産学[3]母子の健康科学（医学書院） 助産学講座 9 地域母子保健（医学書院） 母子保健の主なる統計（母子衛生研究会）
参考図書等	母子保健マニュアル（南山堂） 助産師が行う 災害時支援マニュアル（日本助産師会）
留意事項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
助産管理	講義	2	30	1年次 前期	阿南 美奈子 田中比呂子 有吉 直美 稲富 博美
実務経験のある教員による科目					

授 業 概 要

マネジメントの理論や知識を学び、関係法規に基づく助産業務管理と、助産所や病産院など様々な場での周産期マネジメントシステムについて理解する。医療安全、災害時のリスクマネジメントと対応できる能力を養う。

到 達 目 標

1. 助産管理の基本概念を理解する。
2. 助産業務にかかわる法律について理解する。
3. 周産期管理システムとリスクマネジメントについて理解する。
4. NICU 管理システムについて理解する。
5. 病産院における助産業務管理について理解する。
6. 助産外来における業務管理と実際について理解する。
7. 助産所における助産業務管理について理解する。

事 前 学 習 ・ 事 後 学 習

事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む。
事後学習：授業の内容について復習する。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				◎		○

回数	単 元	内 容	担当教員
1	管理の基本概念とプロセス	助産管理の基本概念 1. 管理の基本概念とプロセス 2. マネジメントに必要な資源 3. マネジメント理論	阿南
2	助産管理の概念	助産管理とケアマネジメント 1. 助産師の法的定義 2. 助産師の業務・責任と今後の展望 3. 助産師の法的責任と義務	阿南
3	助産と医療経済	医療保険制度と助産業務 1. 健康保険制度 2. 助産と医療経済 3. 助産業務と診療報酬 4. 分娩費用	阿南
4	関係法規①	関係法規と助産師の義務・責任 医療法、保健師助産師看護師法、母子保健法、母体保護法 等	阿南
5	関係法規②	関係法規と助産師の義務・責任 児童福祉法、地域保健法、戸籍法、刑法 等	阿南
6	助産に関する医療安全・危機管理	助産師が行う安全対策問い慮自己防止 災害対策	阿南
7	周産期管理システムとリスクマネジメント①	周産期管理システム 1. 未熟児療育医療から周産期医療システムへ 2. NICU の概要 3. NICU での診療・看護の基本原則 4. NICU での診療・看護上の一般的注意 5. NICU 管理の基本的知識	田中比
8	周産期管理システムとリスクマネジメント②	周産期搬送システム 1. 周産期ネットワーク 2. 周産期医療対策と財源 3. 周産期搬送システムの現状と課題 4. オープンシステムと連携	田中比

回数	単元	内容	担当教員
9	周産期管理システムとリスクマネジメント③	周産期の医療事故とリスクマネジメント 1. 周産期医療事故の原因 2. 事故の対応と損害賠償 3. 助産業務におけるリスクマネジメント 感染対策 災害対策 4. 周産期管理における母乳育児支援 母子分離中におけるリスクマネジメント NICU 入院時(長期分離)の母乳育児支援	田中比
10	病産院における助産業務管理	病産院における助産業務管理 1. 助産業務管理の過程 2. 助産業務管理の方法 3. 産科棟の管理 4. 院内助産・院内助産院の管理 5. 外来の助産管理	有吉
11	助産外来における業務管理	1. 院内助産・院内助産院の管理 2. 助産外来の助産管理 助産外来の目的・運営 助産外来の対象となる妊婦 担当助産師の基準 医師の報告基準 カルテ管理と実際 助産外来の実際 助産師の役割	有吉
12	助産所における助産業務管理①	助産所における助産業務管理 1. 助産所とは 2. 助産所の管理に関する法規	稲富
13	助産所における助産業務管理②	助産所の管理・運営 1. 助産所管理の基本 2. 助産所の安全管理基準 3. 医療機関との連携 開業助産師と周産期センターとのオープンシステム	稲富
14	助産所における助産業務管理③	助産所の経営 1. 助産所の経営・財務管理 2. マーケティング 3. 母子の社会保険制度	稲富
15	助産所における助産業務管理④	助産所の経営 1. 助産所の展望 2. 助産所づくり	稲富

評価	客観式テスト 100 点: 阿南 (40 点) 田中(20 点) 稲富 (30 点) 有吉 (10 点)
テキスト	助産学講座 10 助産管理 (医学書院) 新版 助産師業務要覧 I 基礎編・II 実践編 (日本看護協会) 助産業務ガイドライン (日本助産師会) 院内・助産師外来ガイドライン (日本看護協会) 母乳育児支援講座 (南山堂)
参考図書等	分娩を取り扱う助産所の開業基準 (日本助産師会)
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産学実習Ⅰ(妊娠・胎児期)	実習	1	45	1年次	松田 廣実
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授業概要
妊娠期の健康診査による経過診断ができ、対象の健康生活に向けての支援と逸脱時のケアができる能力を養う。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の起源や変遷を通して助産の概念を理解する。 2. 助産に関係する法律を理解し、助産業務と責務について理解する。 3. 助産学を支える哲学と理論について理解する。 4. プライマル・ヘルスとホリスティック医学の知識を得る。 5. 母子保健の動向や諸制度を理解する。 6. 助産の歴史や文化を理解し、将来の助産を展望できる。 7. 我が国・諸外国における助産師教育について理解する。

事前学習・事後学習
<p>事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む 助産所、病院 ・助産業務ガイドラインについて 産婦人科診療ガイドライン 2020、婦人科診療ガイドライン 2020、周産期超音波の見方、 ライフサイクル各期の健康問題、必要な健康教育 産科クリニック ・マザークラス運営について</p> <p>事後学習：実習の内容について復習する</p>

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単元	内容	担当教員
1 ~ 5	臨地実習 実習オリエンテーション 妊娠期の診断とケア ライフサイクル各期の支援	実習オリエンテーション 助産所の概要、実習時の留意事項 産婦人科外来の概要、実習時の留意事項 学内 ・周産期超音波検査の技術演習 臨地実習 ・助産師による妊婦健康診査の見学・実施 ・助産師による妊婦期の診断・ケア ・妊娠各期の健康教育を見学する ・女性のライフサイクル各期の検査・診察の見学・実施 ・カンファレンスで、経験したことや感じたことを積極的に発言し、学びを共有する。 日々の実践と学びを記録し、指導者よりアドバイスを受ける	
6	臨地実習 妊娠期の健康教育	臨地実習 ・母親学級健康教育指導案の作成・指導準備・母親学級の実施 ・カンファレンスで、実習の振り返り	

評価	総合評価:実習目的・目標の到達度、事前学習、実習記録物

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
助産学実習Ⅱ(分娩期)	実習	3	135	1年次	田坂 真恵美
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授 業 概 要

対象が安心して出産できるよう、分娩期の経過診断ができ、基本的な分娩介助の習得およびケアができる能力を養う。

到 達 目 標

分娩期の健康診査を通して、正常な分娩経過の診断ができ、安全に分娩介助を実施することができる。

1. 分娩期の健康診査を通して、正常な分娩経過の診断ができる能力を修得する。
2. 科学的な知識を用いて、正常からの逸脱をスクリーニングできる。
3. 産婦が安心できる分娩介助ができる能力を修得する。
4. 命を授かり家族を形成する出産過程の支援方法を考えることができる。
5. 分娩経過中の異常の判断ができ、適切なケアができる能力を修得する
6. 医療チームにおける助産師の役割と責任を理解し、連携の仕方を学ぶ

事 前 学 習 ・ 事 後 学 習

事前学習: 単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む

- ・薬剤による分娩誘発・促進についての適応と条件、管理の方法および助産ケア
- ・吸引分娩時の方法と助産ケア
- ・帝王切開の術前・術後の助産ケア
- ・新生児受け
- ・間接介助
- ・分娩Ⅰ期～Ⅳ期のケア計画(助産自律実習と共有)

事後学習: 実習の内容について復習する

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単 元	内 容	担 当 教 員
1 ～ 18	臨地実習 実習オリエンテーション 分娩期の診断とケア 分娩介助	診療所実習オリエンテーション ・診療所の概要、実習時の留意事項、分娩見学 臨地実習 分娩期のケア ・分娩期のフィジカルアセスメント ・産婦と家族の心理・社会的アセスメント ・分娩期のアセスメントとそれに基づいたケア(安全、安楽、安寧) ・対象のバースプランに添ったケア ・分娩期の異常時・緊急時の対応 分娩介助を10例以上実施する ・根拠に基づいた分娩介助の実施 出生直後の新生児のケア ・出生前アセスメントとそれに基づいた出生直後の児のケア 産科手術の見学・ケア 分娩期におけるチームの連携を学ぶ 指導者と支援の振り返りを行い自己の課題と今後の取り組みを明確にする ・カンファレンスで、経験したことや感じたことを積極的に発言し、学びを共有する 日々の実践と学びを記録し、指導者よりアドバイスを受ける	

評 価	総合評価: 実習目的・目標の到達度、分娩介助技術の到達度、事前学習、実習記録物
------------	---

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
助産学実習Ⅲ(産褥期・新生児期)	実習	2	90	1年次	田坂 真恵美
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授 業 概 要
産褥・新生児期の生理的適応過程を経過診断することができる。対象の健康生活に向けての支援と逸脱時のケアができる能力を養う。

到 達 目 標
<ol style="list-style-type: none"> 産褥期・新生児期の正常な経過の診断ができる。 健康に産褥期の生理過程をたどるケア・健康教育ができる。 母乳育児支援ができる。 母子相互作用を導き、母子およびその家族の健康を促進するケアができる。 新生児の健康の保持増進について、母親と家族に育児行動獲得支援ができる能力を修得する。 新生児の胎外生活適応過程を促進する援助能力を修得する。 正常経過からの逸脱をスクリーニングできる。 小児外来における退院後の家族の生活を理解できる。

事前学習・事後学習
<p>事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常産褥経過・新生児の生理的变化 ・産褥・新生児期の正常逸脱時のケア、乳房の解剖・生理(母乳育児支援講座・乳腺炎ケアガイドライン 2020) ・乳幼児の発達・ケア <p>事後学習：実習の内容について復習する</p>

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単 元	内 容	担当教員
1 ～ 11	臨地実習 実習オリエンテーション 産褥・新生児期の診断とケア 乳幼児期のケア ハイリスク母児のケア	診療所実習オリエンテーション 診療所の概要、実習時の留意事項 臨地実習 産褥・新生児期のケア 産褥期のアセスメントとそれに基づいたケア <ul style="list-style-type: none"> ・全身の復古の支援、進行性変化の支援 ・母乳育児支援 ・親役割の獲得への支援 ・対象の状況に応じた健康教育指導案作成・実施・評価する ・施設で行われている退院後の生活支援についての指導の実際を見学する 新生児期のアセスメントとそれに基づいたケア <ul style="list-style-type: none"> ・新生児の胎外生活適応への支援 ・新生児成熟度評価 ・生後1カ月健診 ・ハイリスク母子に対する援助の実際を見学する カンファレンスで、経験したことや感じたことを積極的に発言し、学びを共有する 日々の実践と学びを記録し、指導者よりアドバイスを受ける	
12	臨地実習 実習オリエンテーション 乳幼児期のケア ハイリスク母児のケア	病院実習オリエンテーション 小児外来の概要、実習時の留意事項 臨地実習 新生児・乳幼児期の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生後1カ月健診見学・実施 ・乳幼児健診、予防接種見学・実施 ・ハイリスク母子に対する援助の実際を見学する 	

評 価	総合評価:実習目的・目標の到達度、事前学習、実習記録物

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産自律・専門実習	実習	3	135	1年次	田中 真弓
実務経験のある教員による科目	臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う				

授業概要
妊娠期・胎児期から産褥期・新生児期(プライマル・ピリオド)・子育て期まで継続した助産過程を展開し、正常経過を自ら診断し、専門技術を用いて支援する能力を養う。

到達目標
1. 妊娠・胎児、分娩、産褥・新生児・乳幼児期、子育て期の経過を正確に査定できる。 2. 出産・育児(プライマル・ヘルス)がより健康に向かう支援の方法を考えることができる。 3. 対象者の地域背景と生活背景を理解し、社会資源を活用した継続支援ができる。 4. ケアリングおよび「共にいる」支援が、対象の自立および家族に与える影響を考察できる。

事前学習・事後学習
事後学習：実習の内容について復習する事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む 事後学習：実習の内容について復習する

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単元	内容	担当教員
1 ～ 18	臨地実習 実習オリエンテーション 妊娠期の診断とケア	助産所・診療所実習オリエンテーション ・助産所・診療所の概要、実習時の留意事項 臨地実習 ・妊娠中期から産後4ヶ月までの1事例を継続して受け持ち、正常経過をたどる対象の妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の助産過程を実践する 1) 妊娠期:妊婦健診、健康教育を指導者と共に実施 2) 分娩期:正常な分娩経過診断を行い、分娩介助を指導者と共に実施 3) 産褥・新生児期のケア、健康教育を指導者と共に実施 ① 経過診断とケア ② 健康教育計画と実施 産褥期の過ごし方、沐浴指導、退院指導、1ヶ月健診時の指導 ③ 産婦健診 ④ 産褥母子の家庭訪問 ⑤ 1ヶ月健診実施 ⑥ 産後期・子育て期(4ヶ月)の支援：育児不安、産後うつ等の有無 乳児健診(4ヶ月健診)の支援 ・日々の実践と学びを記録し、指導者よりアドバイスを受ける ・妊娠期、分娩期、産褥・新生児期のサマリーの提出 ・助産実践を振り返り今後の課題を明確にする ・継続事例研究計画書の作成	

評価	総合評価:実習目的・目標の到達度、事前学習、実習記録物
----	-----------------------------

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担 当 教 員
地域母子保健実習	実習	1	45	1年次	田中 真弓
実務経験のある教員による科目		臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う			

授 業 概 要
地域における母子保健活動を通して、母子保健推進の実際を学ぶ。

到 達 目 標
地域における母子保健活動の実際を通して、連携および継続支援の重要性を理解する。 1. 地域において母子保健サービスが提供される仕組みを理解する。 2. 行政が行う地域母子保健活動に参加し、関係法規の理解を深め、母子のニーズの充足と助産師の役割を考える。 3. 地域母子保健活動における保健・医療・福祉の連携の中から助産師の役割を学ぶ。 4. 助産師が行う地域の子育て支援、母乳育児の支援、乳房ケア・相談について学ぶ。 5. 助産師が行う地域母子保健活動に参加し、助産師の役割が理解できる。

事前学習・事後学習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む 市町母子保健施設 ・母子保健対策事業(様式22) 助産所 ・乳房の構造と分泌の仕組み 母乳育児支援講座(南山堂) 乳腺炎ケアガイドライン2020(日本助産師会) 母乳ですくすく育てる本(主婦の友社) 断乳法について 公立中学校 ・対象年齢の性の特徴と思春期健康教育(性教育)内容 事後学習：実習の内容について復習する

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単 元	内 容	担 当 教 員
1 ~ 3	臨地実習 実習オリエンテーション 地域母子保健活動	市町母子保健施設実習オリエンテーション 役場の概要、実習時の留意事項 母子保健事業内容・実際の見学・実施 ・産褥・新生児期における母子保健対策 新生児訪問・乳幼児家庭全戸訪問 ・乳幼児期における母子保健対策 乳幼児健康診査、健康教育 保健・医療・福祉の連携	
4 5	臨地実習 実習オリエンテーション 母乳育児支援	臨地実習:地域で行う母乳育児支援を学ぶ。 ・乳房ケア、育児支援の実際の見学。 ・母親とコミュニケーションを図り、母乳育児や子育てについての実際を理解する。 ・対象に合わせた相談・健康教育の見学。 ・地域助産師の役割について考える。	
6	臨地実習 思春期健康教育	臨地実習 助産師の行う思春期健康教育を見学し、地域助産師の役割について考える。	

評 価	総合評価:実習目的・目標の到達度、事前学習、実習記録物

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
助産・周産期管理実習	実習	1	45	1年次	阿南 美奈子
実務経験のある教員による科目		臨床(病院等)での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行う			

授業概要
1. NICU 入院児とその家族へのケアの実際から安全管理について学ぶ。 2. 病院・診療所内における助産業務管理と助産所における管理・運営について学ぶ。

到達目標
病院・診療所、助産所及び総合周産期母子医療センター(NICU)実習を通して、助産業務管理及び安全管理について理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> NICU 病棟における周産期管理・安全管理について理解できる。 NICU 入院児のケアの実際と退院後の生活に向けた家族支援について理解できる。 病院・診療所の助産業務管理及び安全管理について理解できる。 助産所における管理・運営について理解できる。 関連機関および多職種との連携について理解できる。 助産管理を通して、母子保健医療チームの中の助産師の役割について考えることができる。

事前学習・事後学習
事前学習：単元の内容についてテキスト、参考図書等から予習し、事前課題に取り組む 産業医科大学病院 NICU 病棟：NICU の概要 看護の基本原則、低出生体重児のケア 病院・診療所(産科病棟)：病棟の助産管理について 助産所(みずまき助産院)：助産所の助産管理について 事後学習：実習の内容について復習する

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			○	◎		

回数	単元	内容	担当教員
1 ~ 3	臨地実習 実習オリエンテーション NICU 病棟における管理	実習オリエンテーション 総合周産期母子医療センターの施設概要、実習時の留意事項 臨地実習 NICU・GCU における周産期管理・安全管理 NICU 入院児のケアの見学 NICU 入院児の家族支援 周産期医療に関わる関連機関・多職種との連携	
4	臨地実習 実習オリエンテーション 診療所における助産業務管理	実習オリエンテーション 診療所の施設概要、実習時の留意事項 臨地実習 助産業務管理の実際 施設・情報・安全管理の実際 施設内連携・他施設連携	
5 6	臨地実習 実習オリエンテーション 助産所における助産業務管理	実習オリエンテーション 助産所の施設概要、実習時の留意事項 臨地実習 助産業務管理の実際 施設・情報・安全管理の実際 経営・運営管理の実際 職員の管理・教育の実際 嘱託医・地域・他施設連携	

評価	総合評価:実習目的・目標の到達度、事前学習、実習記録物